巡回送迎バス新ルートスタート

5月から

JR津久野・ファミリークリニック ⇄ 耳原総合病院

津久野支部より長年ご要望いただいていました送迎バスの運行が、5月から新ルートとして誕生しました。あわせてこれまで送迎ルートのなかった、みみはらファミリークリニックへも運行を開始します。公共交通機関のアクセスが悪く、これまでご不便をおかけしていました。

バスの定員は9人です。注意事項をご確認いただき、多くの方にご利用いただければと思います。

無料送迎バス時刻表　土曜日は午前の２便のみとなります

停留場所	1便	2便	3便	4便
総合病院発	8：00	10：00	12：50	15：00
JR上野芝駅（西口）	8：05	10：05	12：55	15：05
津久野町バス停	8：06	10：06	12：56	15：06
神野町バス停	8：10	10：10	13：10	15：10
JR津久野駅	8：20	10：20	13：15	15：20
神野町バス停	1便のみ停留場所と時刻については調整中	10：23	13：18	15：23
津久野町バス停		10：30	13：25	15：30
上野芝７丁「タイムズ上野芝駅前第４」横（上野芝町7-3-15）		10：31	13：26	15：31
高砂薬局横		10：40	13：35	15：35
総合病院	8：45	10：45	13：40	15：40
	8：50	10：50	13：50	
ファミリークリニック	9：20	11：20	14：20	
総合病院着	9：50	11：50	14：50	

ご利用時のお願い

- 乗車の際、手をあげて運転手にお知らせください。
- 上野芝７丁「タイムズ上野芝駅前第４」横は総合病院行きのみです。（降車できません）帰りは「JR上野芝駅西口」または「津久野町バス停」降車をご利用下さい。
- バスの定員は９名です。道路事情により多少、時間・停留場所がずれる場合があります。上記ルート以外からの乗降はできませんのでよろしくお願いいたします。
- 土曜日は２便までしか運行がありません。また日・祝・年末年始など休診日は運行がありませんので、ご了承ください。

降車のご注意

- 耳原総合病院から出発し（たかさご薬局横は降車のみです）JR上野芝駅西口経由JR津久野駅着となります。
- 上野芝７丁「タイムズ上野芝駅前第４」横は降車できません。「JR上野芝駅西口」または「津久野町」バス停をご利用下さい。（※道路事情のためご了承おねがいします）

★総合病院～高砂クリニック～老松診療所～駐車場　巡回バスは廃止に

総合病院周辺を巡回していましたバスは、老松診療所・駐車場の閉鎖に伴い廃止になりました。

こんにちは！同仁会グループ事業所だより㉒

同仁会本部　組織部

〒590-0824　堺市堺区老松町２丁58-1
TEL　072-244-8061　FAX　072-244-7860

「友の会」と同仁会をつなぎ、あらゆる活動のパートナーに

同仁会本部・組織部は、共同組織である健康友の会みみはらと同仁会をつなぐ役割を担っています。

現在、友の会は準備中も含め24支部、3万7千世帯。地域のたまり場は12カ所あります。これらを組織部職員だけでなく、地域に根ざして支部の活動をリードする「友の会専任」の方の力を借りて運営しています。

政治の右傾化が進む中で、格差と貧困の拡大や、自己責任を基本とした国の社会保障の改悪が進められ、安心して生活を続けるには困難が増えてきています。また、高齢化のもとで地域のコミュニティが崩壊し問題をいっそう深刻にしています。

こうした中、友の会は安心して住み続けられる「まちづくり」「健康づくり」をめざして、同仁会のパートナーとして、あらゆる活動を行っています。

友の会のさらなる組織強化に向けて5月の総会において、個々人の意思の尊重のために個人会員制へ、また「あらゆる活動のパートナー」をよりすすめるために、入会金制から出資金的な意味合いを持つ協同基金への参加をもって加入資格とすることを提案しています。

友の会の地域での活動をより活発にしていくためには、医療や介護の専門家であり、民医連・同仁会の方針を具体化している職員の参加が不可欠です。会員と職員が文字通りパートナーとなって、同仁会・みみはらをより強く大きくしましょう。

シリーズ 現場からの視点 その15

～医療と介護の橋渡し～

耳原総合病院にケアマネージャー配置

4月から、耳原総合病院1階のサポートセンターにケアマネージャーを配置しています。現在、月・水・金の午後に、8月からは毎日患者さんの相談に対応いたします。

退院後の在宅生活は不安がいっぱい

病気になったら入院して、じっくり治して家に帰る…そう考える人は今でもたくさんいるのではないでしょうか？ところが「治療が終わったら一日も早く退院する」、これが急性期病院の現実です。

現在の急性期医療制度では、入院した途端に退院の準備にかからないといけないくらい、ベッドの回転数をあげないと経営的に厳しい実状があります。病院はベッドを空けなければ、治療を必要とする次の患者さんを受け入れることができません。

耳原総合病院では386床の病室を最大限活用するために、退院調整チームを立ち上げ、ケアマネージャーもその一助を担っています。

治療も終わり先生から退院の話が出たけど…実際に何の準備もなしに在宅生活に戻ると、たちまち困ったことがたくさん出てきます。

「本当にこのまま家に帰って大丈夫なの？」その不安の背景には、家の布団からは立ち上がれるか、お風呂は1人で安全に入れるか、買い物は以前のように自分で行けるかなどがあります。それでも治療が終われば、退院の日は突然やってきます。

入院中にケアマネージャーに相談できます

退院に向けて必要な介護保険サービスの相談や説明を行います。

介護認定未申請で介護保険サービスを希望される方については、役所への代行申請を行い、退院後できるだけ早く介護サービスを受ける事ができるよう支援します（介護保険は申請してから認定結果が出るまでに、約1カ月かかるため、早めの申請が重要となります）。もし退院時に認定結果が出ていなくても暫定的な介護サービスについて入院中にご相談いただけるので安心です。

「地域に」「自宅に」戻った後の生活を快適に過ごせるようサポートさせていただきます。

（介護保険事業部）